

寒冷期における子牛の飼養管理

暑い夏が終わり、冷え込みが厳しくなる季節となりました。

ほ乳期は15℃を下回ると、寒冷によるストレスを感じます。

本格的な冬に向け、寒冷ストレスを最小限にするほ乳期の飼養管理を行いましょう。

冬に向けた寒さ対策

寒冷対策のポイントとして、①換気と保温、②十分な栄養給与が挙げられます。

1 換気と保温

換気が不十分だと、牛舎内にあるペンやハッチに汚れた空気がこもり、肺炎などの呼吸器病を発症してしまいます。十分な換気を行いましょう。

風が直接子牛に当たると、体温が下がり免疫力が低下します。建物の隙間風を塞いだり、ペンやハッチの上部を保護シート等でカバーしましょう。



図1 保護シートを2重にして保温



図2 夜間はハッチを丸ごと保温

冷たい床や壁に触れると寒さを感じるため、いつもより多めに敷料を入れましょう。

2 十分な栄養給与

気温が低下すると、体温を維持するために必要なエネルギーが増加し、成長へのエネルギーが不足して増体が低下します。

冬場は代用乳の濃度を変わらず量を徐々に増やして給与し、エネルギーを補給すると効果的です。

※増給の際は、牛の様子を見ながら少しずつ行いましょう。